

第9期 定時株主総会

2024年6月27日

株式会社 KOKUSAI ELECTRIC

《 報告事項

事業の経過及びその成果

当社グループを取り巻く事業環境

■ 半導体関連市場

半導体デバイスの
在庫調整が進む

メモリーデバイス単価
の上昇

市況が
底を打つ



中国市場

成熟ノード向けの
設備投資が活発化

今後数年は活発な投資が継続

世界各国市場

先端品開発に対する
投資は継続

市況の回復に伴い、
先端品への設備投資が活発化

2024年3月期 決算ハイライト

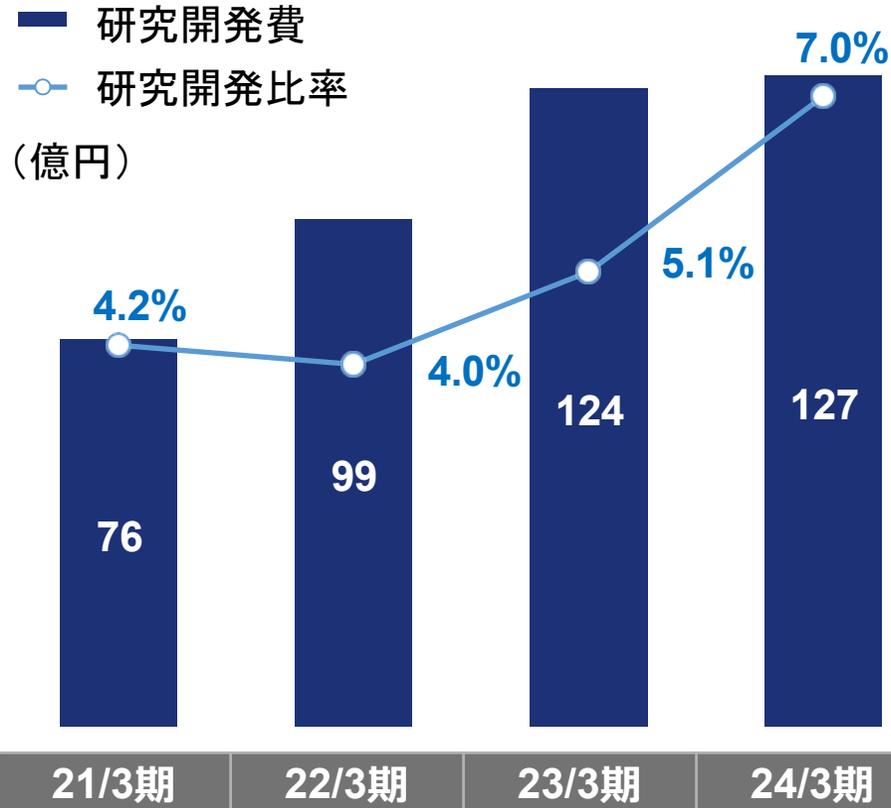
通期業績は、NAND市況低迷の影響により前期比で減益減収ながら、2Qからの回復傾向を継続。
売上総利益率は、前期を上回る水準で着地。

(億円)	24/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前期比
売上収益	327	450	540	492	1,808	△26.4%
売上総利益	143	199	217	191	750	△25.6%
営業利益	40	94	107	67	307	△45.2%
税引前当期(四半期)利益	37	91	107	61	298	△46.8%
当期(四半期)利益	27	62	79	56	224	△44.5%
調整後営業利益	56	110	124	88	378	△41.1%
調整後当期(四半期)利益	38	73	91	71	273	△40.6%

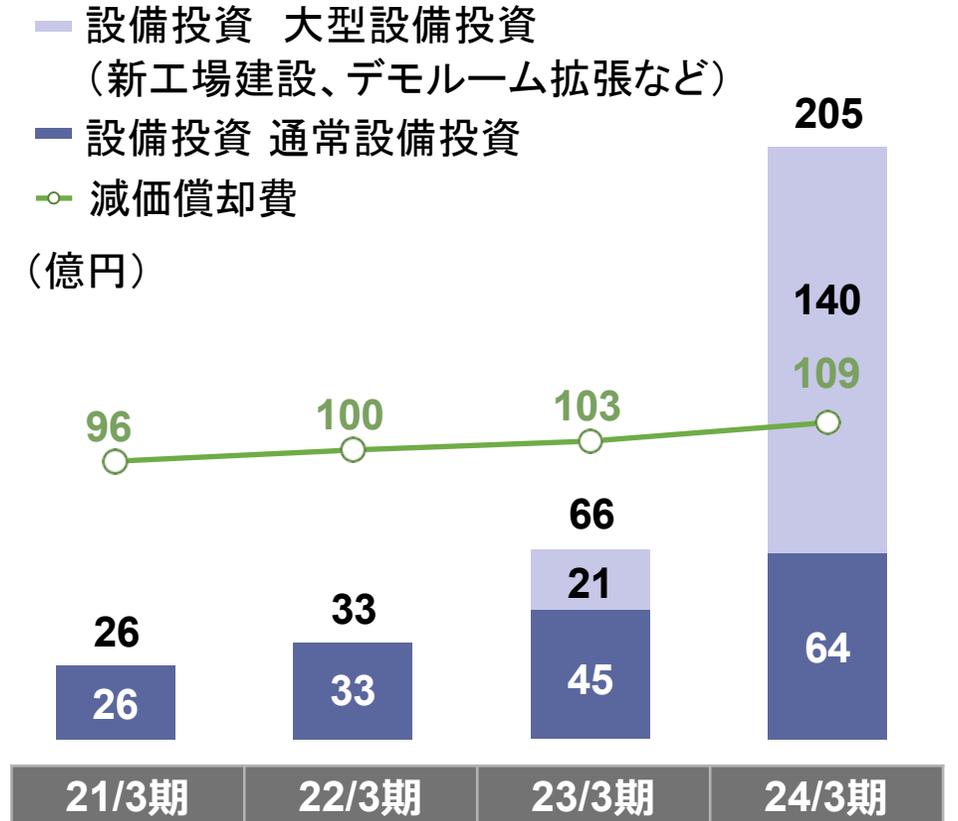
2024年3月期 決算ハイライト

中長期的な需要拡大を見据えて研究開発投資、設備投資を継続。
研究開発費は前期並み。設備投資は前期比3.1倍。減価償却費は前期比微増。

研究開発費



設備投資／減価償却費

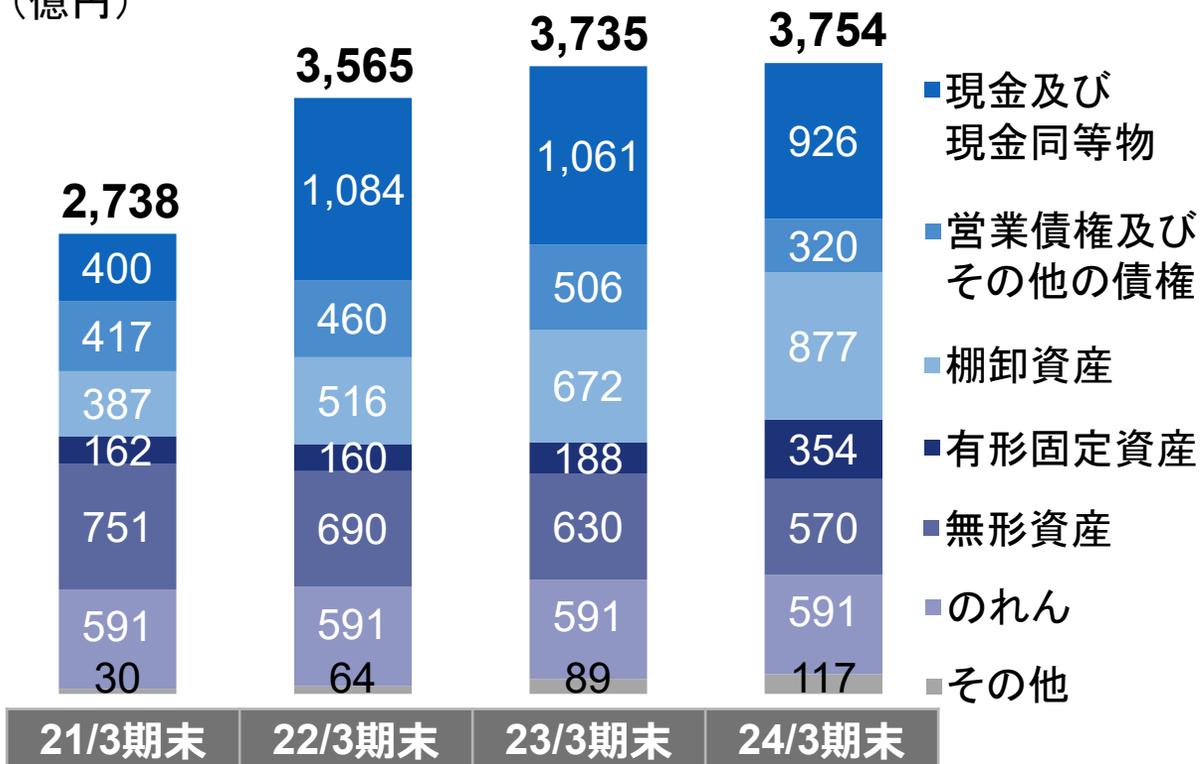


貸借対照表

資産合計は、現金等、営業債権等は減少したものの、棚卸資産、有形固定資産が増加し、23/3期末比で19億円増加。負債合計は、営業債務等の減少、有利子負債の返済により、23/3期末比で246億円減少。資本合計は、利益剰余金の増加などにより、23/3期末比で265億円の増加。

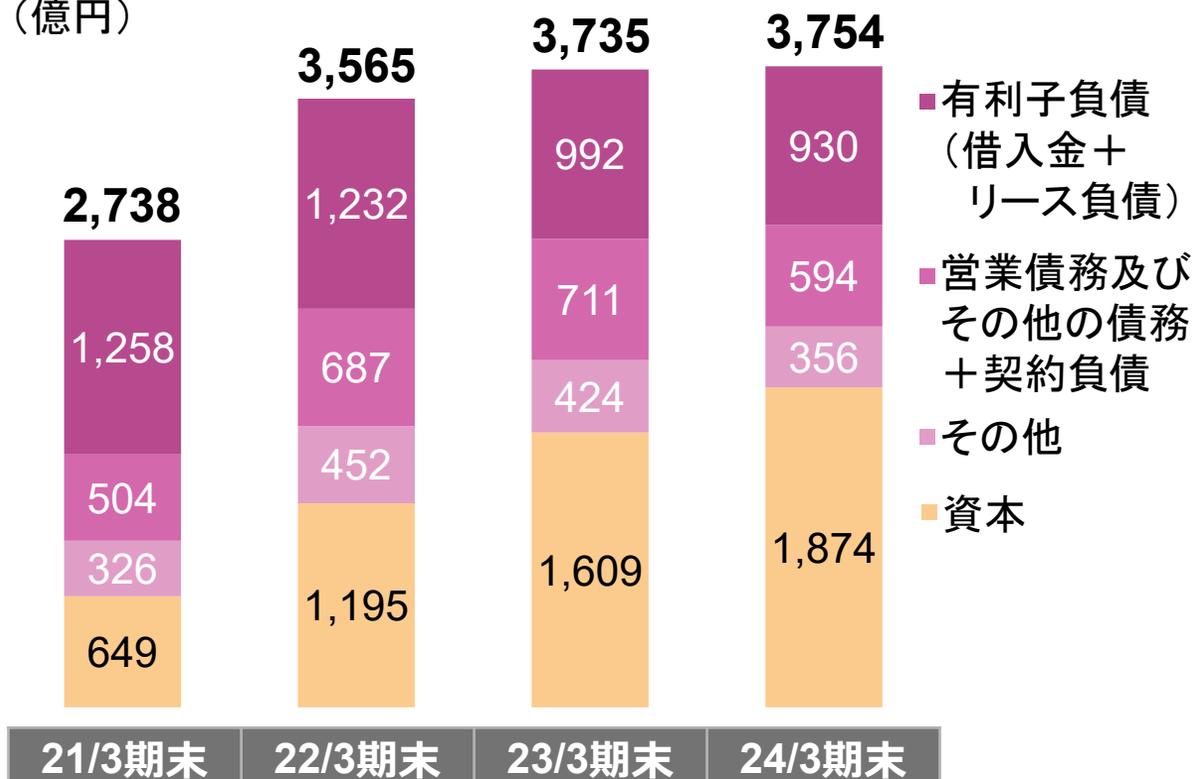
資産

(億円)



負債・資本

(億円)



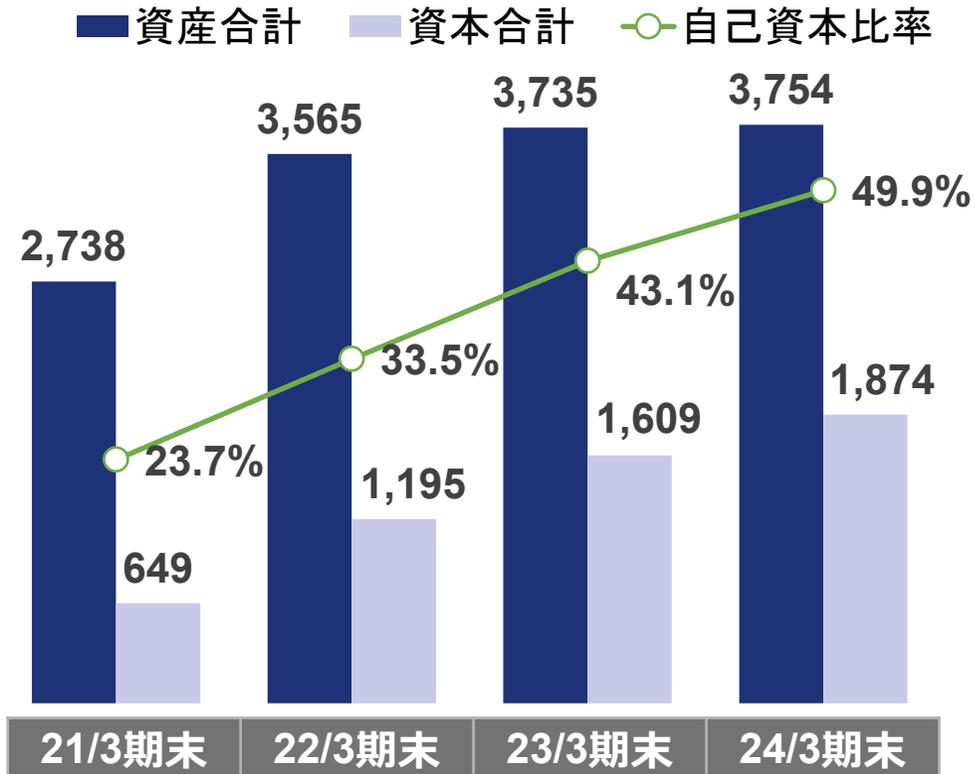
自己資本比率 & 現金及び現金同等物 / 有利子負債

自己資本比率は、24/3期末で50%。

24/3期末のネットデットは4億円。有利子負債は計画どおりに縮減。

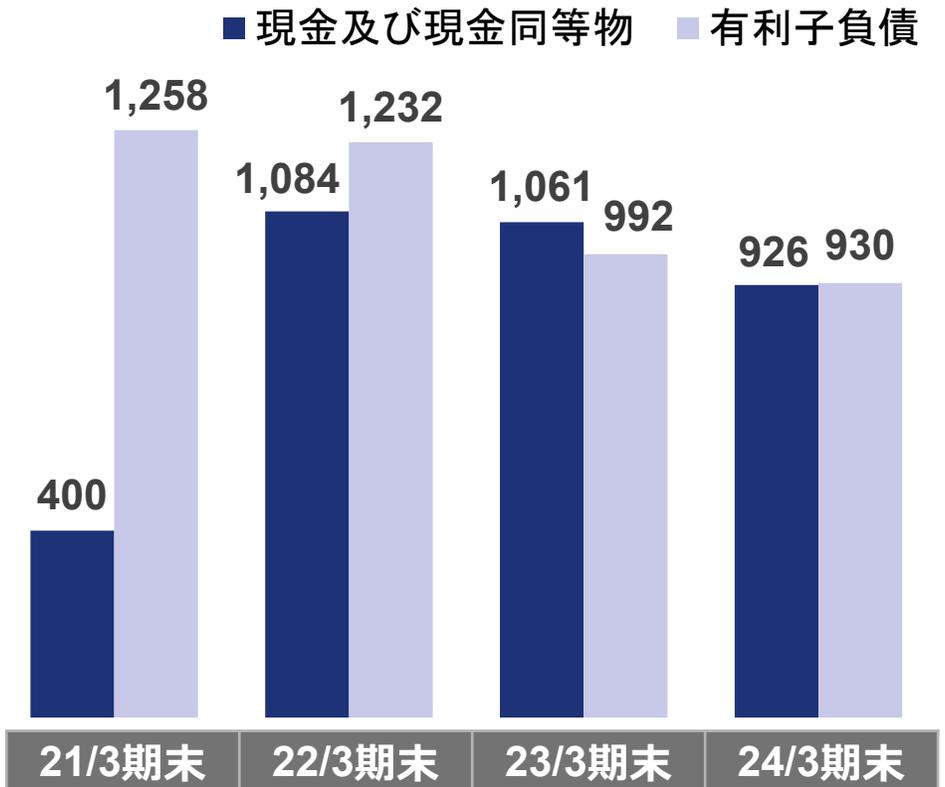
資産合計 / 資本合計 / 自己資本比率

(億円)



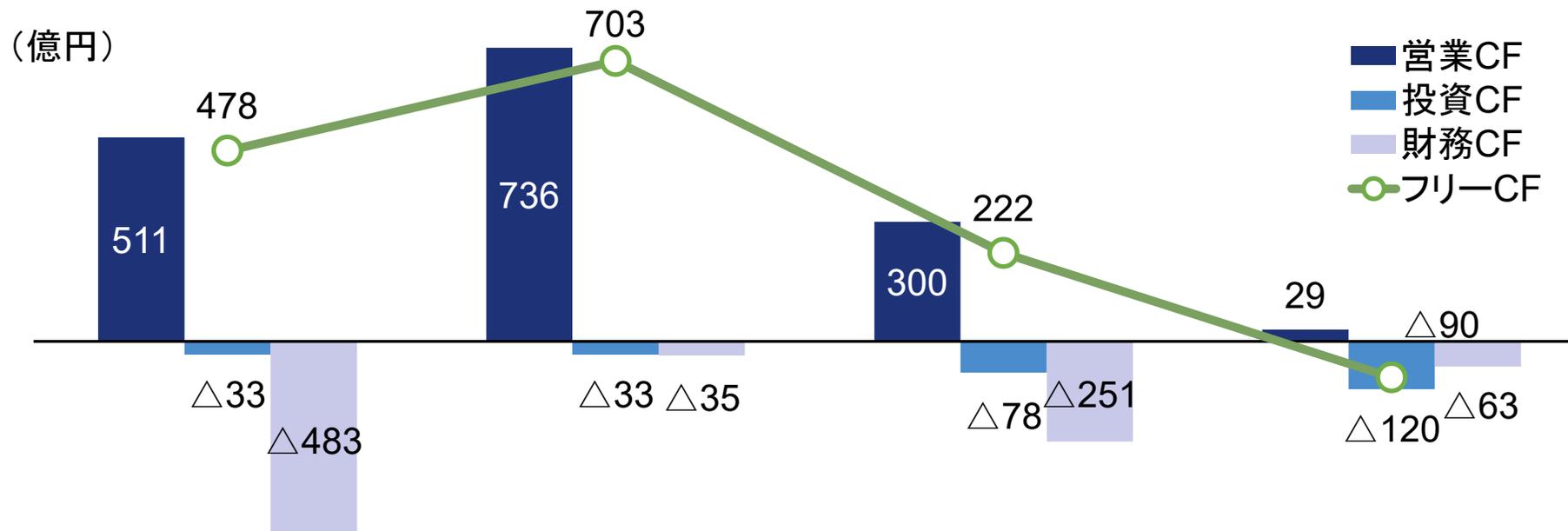
現金及び現金同等物 / 有利子負債

(億円)



キャッシュ・フロー

売上収益減少の影響で営業CFが減少し、フリーCFも減少。



(億円)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期
営業CF	511	736	300	29
投資CF	△33	△33	△78	△120
財務CF	△483	△35	△251	△63
フリーCF	478	703	222	90
現金及び 現金同等物残高	400	1,084	1,061	926

2025年3月期連結業績予想

売上収益は24/3期比で20%増、税引前利益は47.9%の増加、親会社の所有者に帰属する当期利益は29.6%の増加を見込む。配当金は半期当たり5円増の年間32円を想定。

(億円)	23/3期	24/3期	25/3期(予想)	前期比
売上収益	2,457	1,808	2,175	+20.3%
売上総利益	1,008	750	927	+23.7%
売上総利益率	41.0%	41.5%	42.6%	+1.1pts
調整後営業利益	643	378	510	+34.8%
調整後営業利益率	26.1%	20.9%	23.4%	+2.5pts
調整後当期(四半期)利益	460	273	356	+30.4%
調整後当期(四半期)利益率	18.7%	15.1%	16.4%	+1.3pts
営業利益	561	307	448	+45.7%
営業利益率	22.8%	17.0%	20.6%	+3.6pts
税引前当期(四半期)利益	559	298	440	+47.9%
税引前当期(四半期)利益率	22.7%	16.5%	20.2%	+3.7pts
当期(四半期)利益	403	224	290	+29.6%
当期(四半期)利益率	16.4%	12.4%	13.3%	+0.9pts
1株当たり配当金(円)	-	11*1	32	+5.0円 /半期
配当性向	-	11.4%	25.7%	+14.3pts

* 24/3期の1株当たり配当金につきましては、上場時期が下半期であることを踏まえて半期分の金額とし、全額期末配当による支払いを予定しております。

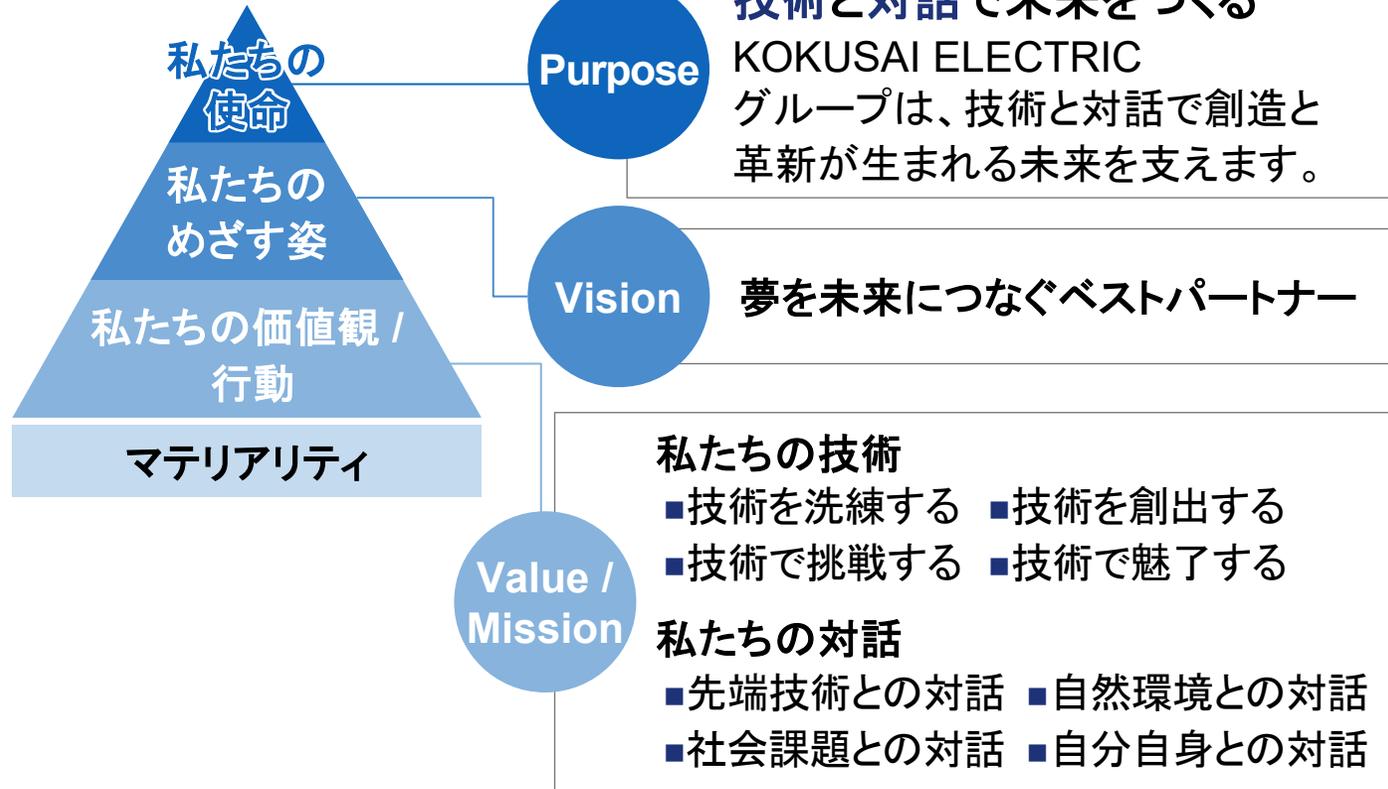
《 対応すべき課題

経営の基本方針

“KOKUSAI ELECTRIC Way”（企業理念）に基づき、事業活動とESGの取り組みの両側面から経済価値と環境・社会価値を追求し、SDGsの達成に寄与するとともに、創造と革新が生まれる未来を支え続ける。

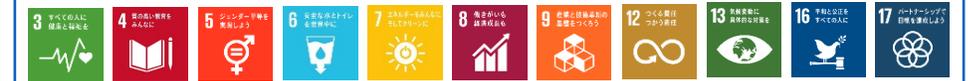
“KOKUSAI ELECTRIC Way”

KOKUSAI ELECTRIC Way

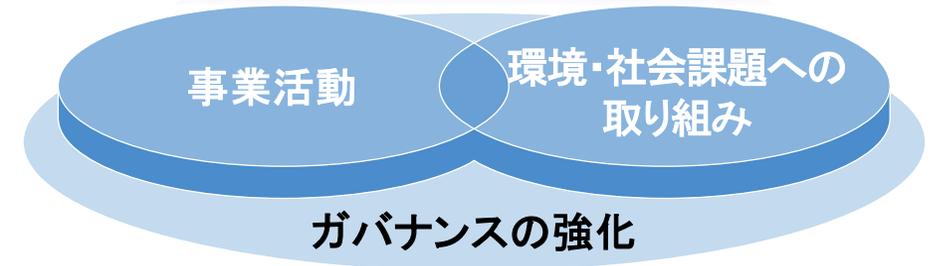


サステナビリティ経営

持続可能な社会の実現・SDGs達成への寄与



企業価値拡大・持続的发展

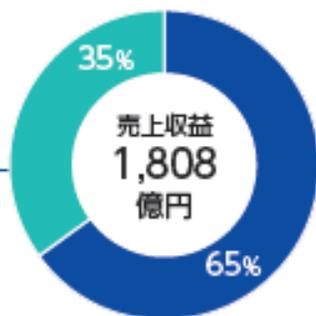


中長期的な経営方針

半導体製造プロセスにおける成膜を軸としてグローバルに事業を展開し、バッチ成膜装置およびトリートメント装置の市場で高いシェアを誇る半導体製造装置専門メーカー。

■ 事業ポートフォリオ

2024年3月期
売上収益構成比



■ 装置ビジネス

バッチ成膜装置

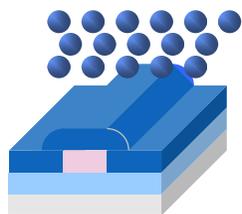
バッチALD 対応装置

トリートメント装置

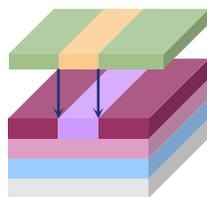
バッチCVD 対応装置

■ サービスビジネス

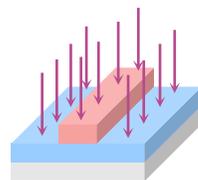
■ 主要ビジネス領域(半導体製造の前工程)



成膜／トリートメント



リソグラフィ



エッチング／洗浄

主要製品

ラージバッチ成膜装置「AdvancedAce®-300」



- 高品質な成膜性能と高生産性を備えた装置
- バッチALD技術、バッチCVD技術、酸化技術、拡散技術、アニール技術などに対応

ミニバッチ成膜装置「TSURUGI-C²® 劔®」



- 次世代対応に向けた成膜性能と高生産性を備えた装置
- 最新のバッチALD技術など薄膜形成プロセスに対応

枚葉トリートメント装置「MARORA®」



- 成膜後にプラズマや加熱により膜質を改善させることを目的とした装置
- 複雑な半導体形状に対して、高い生産性と品質でのトリートメントが可能

枚葉トリートメント装置「TANDUO®」



- 成膜後に加熱により膜質を改善させることを目的とした装置
- 低温でのアニールが可能

中長期的な経営方針 装置ビジネス

半導体デバイスの微細化・複雑化・三次元化に対応し、難易度の高い成膜と高い生産性を両立するバッチALD*技術や、薄膜の膜質を改善する枚葉トリートメント技術を生かして事業拡大を図る。

■ バッチ成膜装置

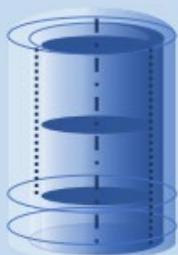
高い生産性と難易度の高い高品質成膜の両立が可能なバッチALDの需要が拡大

バッチ成膜技術
高生産性

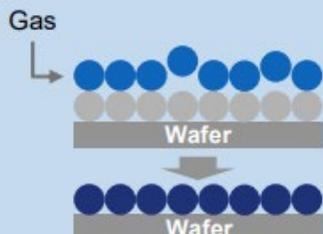


ALD技術
高品質

数十枚以上のウェーハを一度に成膜



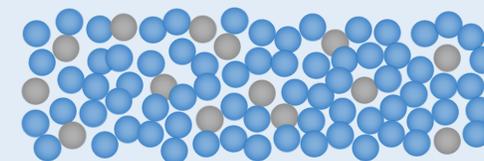
ウェーハ表面でガスが反応



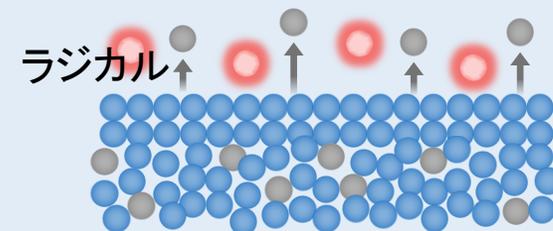
※イメージ

■ 枚葉トリートメント装置

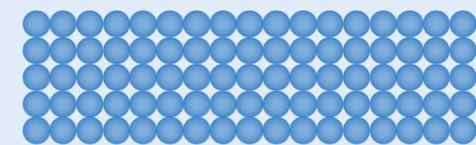
1 低温成膜による不純物の発生



2 潤沢なラジカルで不純物を除去



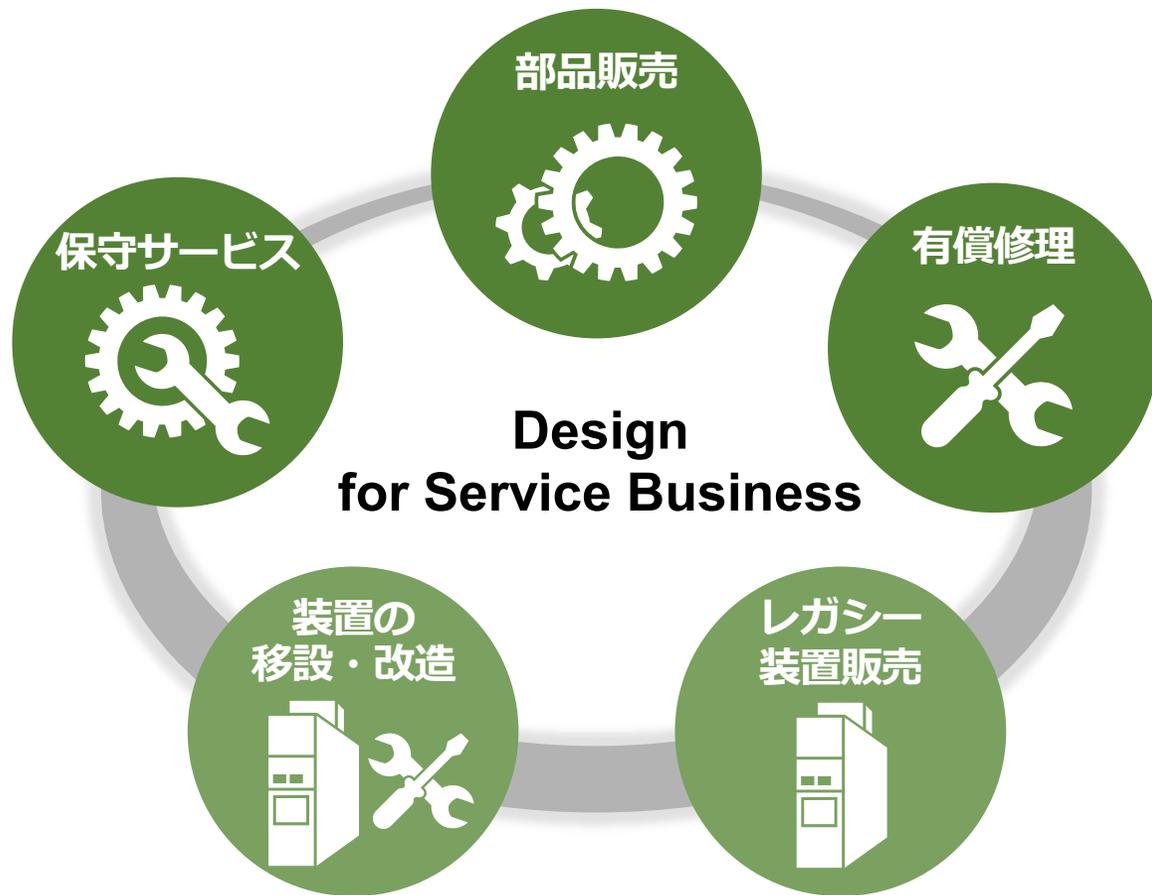
3 トリートメント（膜質改善）後



*当社グループでは、複数のガスをサイクリックに供給する工程を伴い、原子層レベルで成膜する手法を「ALD」と呼んでいます。

中長期的な経営方針 サービスビジネス

市場の変動を受けにくく、安定した需要の見込めるビジネスとして、稼働台数の増加に合わせて、お客様のニーズに合わせたアフターサービスを提供。レガシー装置販売にも注力し、事業拡大をめざす。



- ライフサイクル全般にわたって、部品販売、保守サービス、有償修理、装置の移設・改造のアフターサービスを提供。
- “Design for Service Business”のコンセプトにより、部品販売・保守メンテナンス単価も上昇。
- グループ会社の販売ネットワークを活用してウェーハサイズ200mm以下のレガシー装置(新品・中古)販売にも注力。

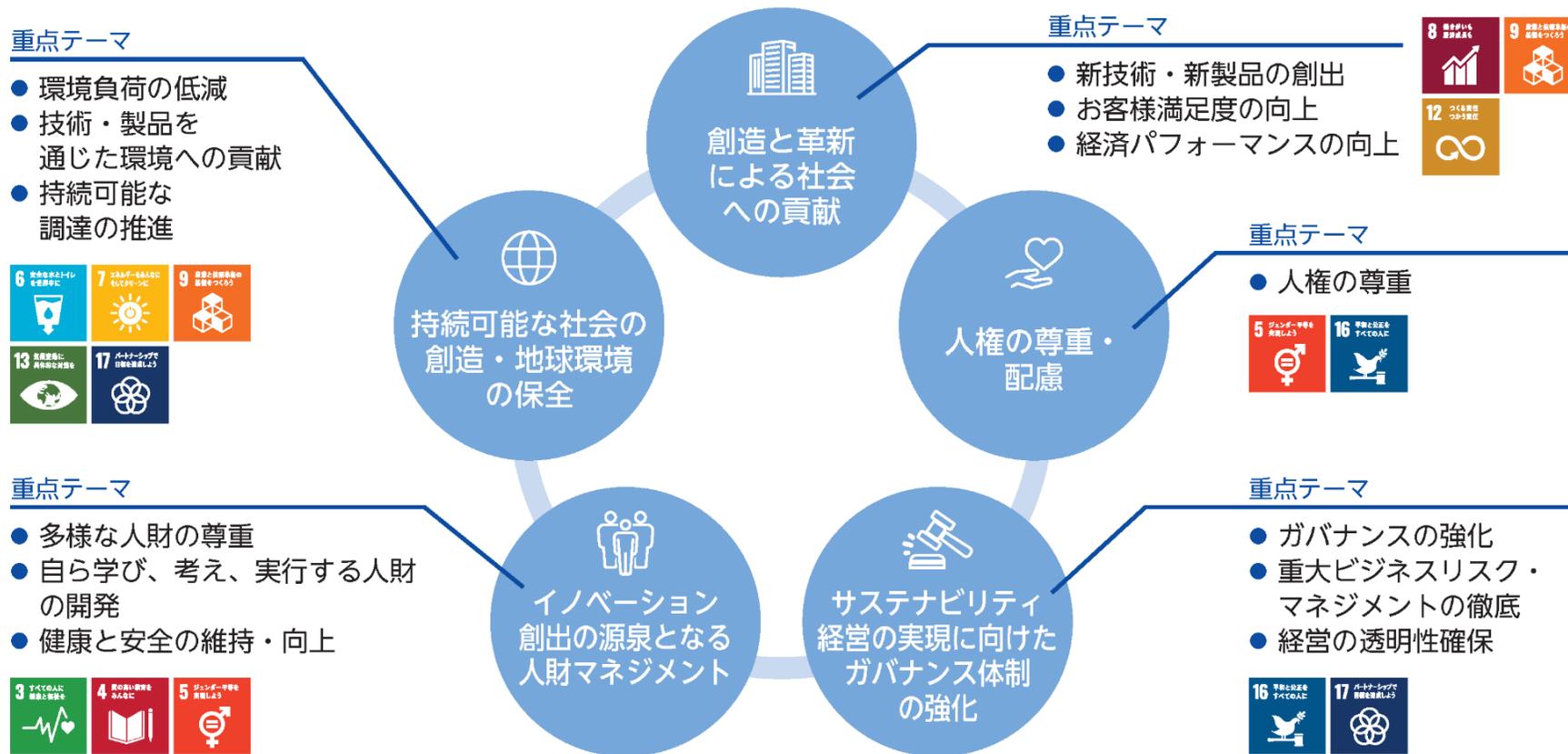
Design for Service Businessの効果の一例

	従来製品	TSURUGIシリーズ
部品販売・保守メンテナンスの1台当たり売上	1x	4x~
装置売上のCAGR(17/3期~23/3期)	約20%	約75%

中長期的な経営方針 ESGの取り組み

社長執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会のもと、5つのマテリアリティに沿って課題解決に向けた活動を推進。

マテリアリティ



※マテリアリティ、重点テーマについては、2024年3月に開催したサステナビリティ委員会で見直した結果、変更がないことを確認しています。

中期目標

中長期的な経営方針に基づいて、中期目標を設定。

	2024年3月期実績	中期目標
売上収益	1,808億円	3,300億円以上
装置ビジネス売上比率	65%	75%程度
サービスビジネス売上比率	35%	25%程度
調整後営業利益率	20.9%	30%以上
研究開発費(対売上収益比率)	7.0%	6%程度
(参考)ROE(自己資本利益率)	15.7%	25%以上
(参考)ROIC(投下資本利益率)	10.1%	23%以上
(参考)前提としたWFE市場規模	\$100Bn(2023年)	\$120Bn以上

剰余金の配当

1株当たり配当金

	中間	期末	年間
第9期	—	11円	11円
第10期(予想)	16円	16円	32円

第9期 定時株主総会

2024年6月27日

株式会社 KOKUSAI ELECTRIC